

iDeCoの普及・推進に向けた取組について

国民年金基金連合会

2026年4月14日





目次

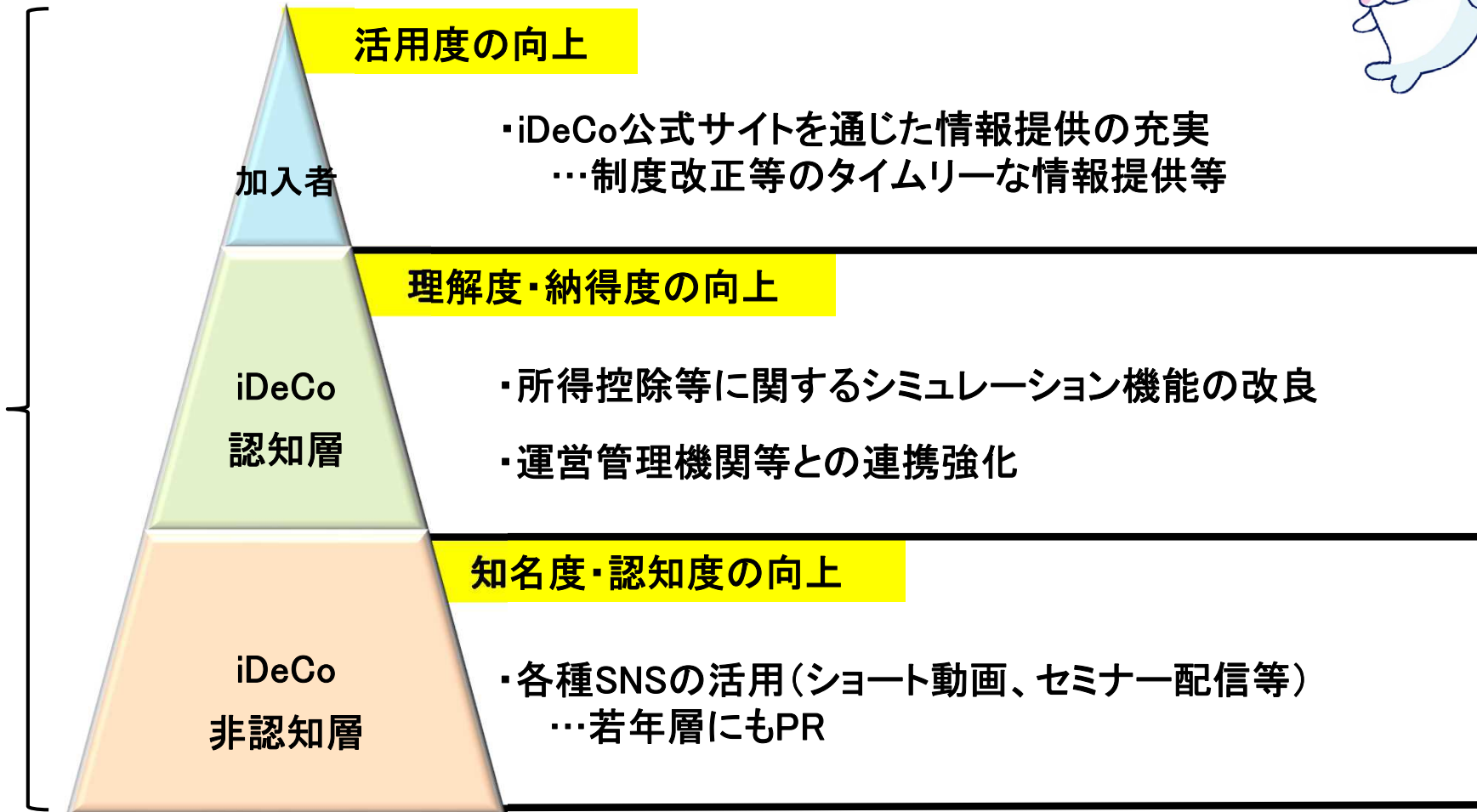
(1) 広報施策の強化	2
(2) オンライン化による利便性向上と効率化	
① e-iDeCo	6
② iDeCoプラス	7

(1) 広報施策の強化

◆ 令和8(2026)年の制度改革(拠出限度額及び加入可能年齢の引き上げ)を機に、広報施策を強化。



制度改革を機に各層への働き掛け強化



(1) 広報施策の強化①

- ◆ 若年層を中心としたiDeCo非認知層に対しては、制度の魅力や将来の資産形成の重要性を理解しやすいショート動画等のデジタルコンテンツを作成する。
- ◆ X、YouTubeをはじめとした各種SNSを開設するほか、事業主を通じた社員向け周知など、情報コンテンツへのアクセスポイントを増やすことでより広い層へアプローチし、年金・金融リテラシーの底上げを図る。

・情報発信力の強化

現状：iDeCo公式サイト



iDeCoを認知している層
へのアプローチのみ

+

2026年秋以降順次

X、YouTubeをはじめとした各種SNSでアプローチ！

YouTube



×

・掲載コンテンツ、提供方法の多様化



気軽に視聴可能なコンテンツで
まずはiDeCoを身近な存在に

+

事業主を通じた社員向け周知、
オンラインセミナー



知識、ニーズに応じた多様なコンテンツを多様な方法で提供

(1) 広報施策の強化②

- ◆ iDeCo認知層に対しては、所得控除シミュレーション等のコンテンツの充実を図り、iDeCoの魅力をわかりやすく訴求する。
- ◆ 啓発活動における他機関との連携を強化すると共に、運営管理機関等と共同して顧客ニーズを一層的確に把握する。

2026年上期

・魅力の訴求

iDeCo公式サイトでのシミュレーションをリニューアル！
「iDeCoかんたんシミュレーション」(仮称)



2STEPでiDeCoの魅力を簡単に実感！

①職業の選択

②条件入力

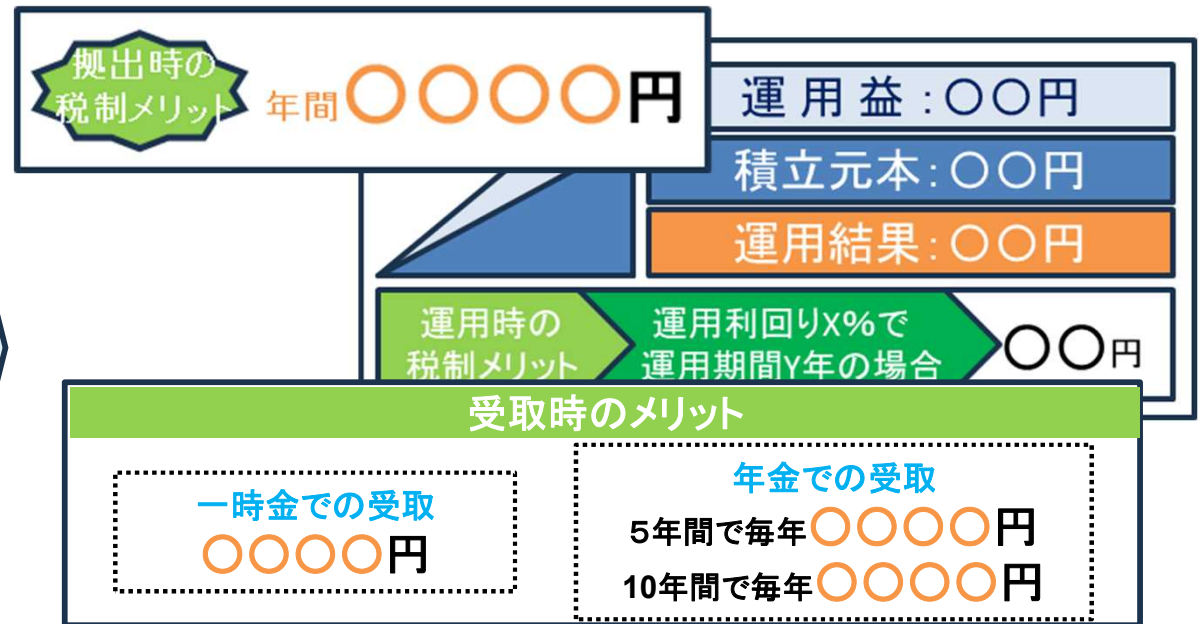
○自営業者等
○会社員
○公務員
○専業主婦・夫

○年収
○年齢
○掛金額 等
諸条件入力

・関係機関との連携強化

- ①啓発活動の強化
企業年金連合会、J-FLEC、
全国社会保険労務士会連合会等との連携を強化する。
- ②一層的確なニーズ把握
コールセンター・運営管理機関等から情報を収集し、
ユーザーニーズをよりの確に把握する。

→ 効率的・効果的な広報施策へ活用



(1) 広報施策の強化③

- ◆ 令和8(2026)年の制度改正と合わせて、iDeCo公式サイトに制度のパワーアップをわかりやすく情報提供する。
- ◆ 公的年金シミュレーターのiDeCo試算で興味を持った方向けの導線を確保。

興味をもった未加入者に円滑な導線の確保

「公的年金シミュレーター」の利用者を 加入手続きへ案内

公的年金シミュレーターに、多くの利用者が来訪

- ➔ 「iDeCo公式サイト」を訪問する公的年金シミュレーター利用者用にランディングページを特設するなど、使い勝手を向上



iDeCo公式サイト
ランディング・ページ (イメージ)

メリットを知りたい

加入したい

各種手続き

⋮



(2) オンライン化による利便性向上と効率化 ①e-iDeCo

◆ オンライン手続きの利用を促進することにより、加入者等の利便性の向上と効率化を進める。

【諸変更手続 (e-iDeCo)】

- 令和7(2025)年10月、諸変更手続について「e-iDeCo」(iDeCoオンライン手続きサービス)を提供開始。
- 令和8(2026)年4月現在、59の運営管理機関が導入。

(1) 特徴

- ・ 運営管理機関共通で導入可能なiDeCo諸手続のオンライン手続きプラットフォーム
- ・ 加入者は、マイナンバーカードでログイン認証することで、各変更手続における基礎年金番号や住所等の入力が必要。
オンライン送信により発送手続きが必要。
- ・ 令和8(2026)年からは、マイナンバーカードのスマートフォン搭載により、マイナンバーカードのログイン認証も簡素化。

(2) オンライン化対象手続 (令和7(2025)年10月時点)

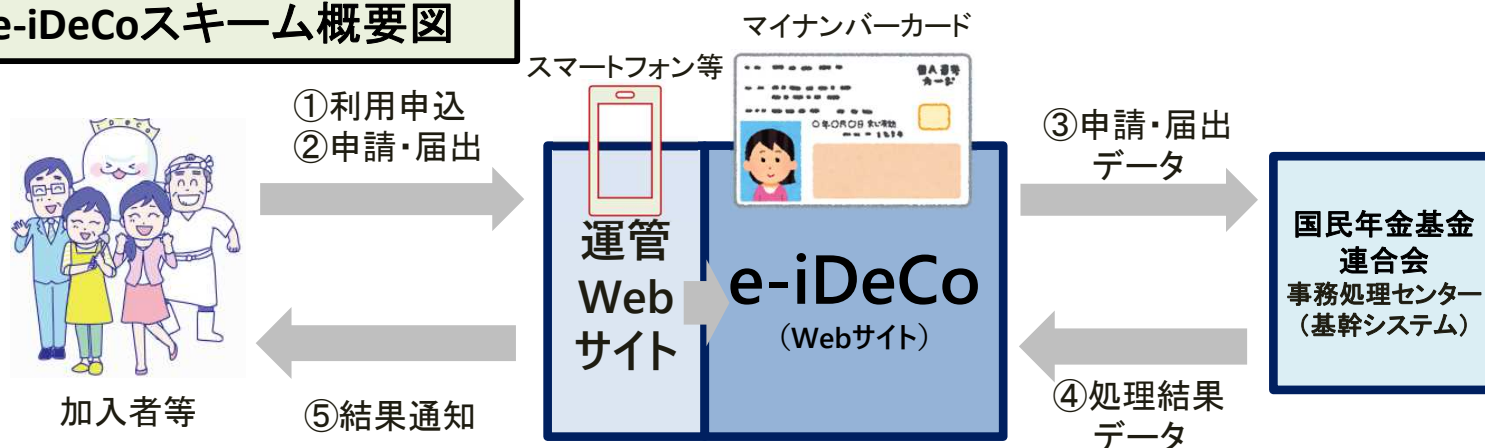
- ・ 掛金額、住所・氏名、被保険者種別、引落口座の変更
- ・ 資格喪失届
- ・ 控除証明書の電子交付

【参考】

e-iDeCoログイン画面
(スマートフォン)



e-iDeCoスキーム概要図



(2)オンライン化による利便性向上と効率化 ②iDeCoプラス

- ◆ 令和8(2026)年度中にiDeCoプラス※に関する申請・届出のオンライン化に着手し、利便性の向上を図る。

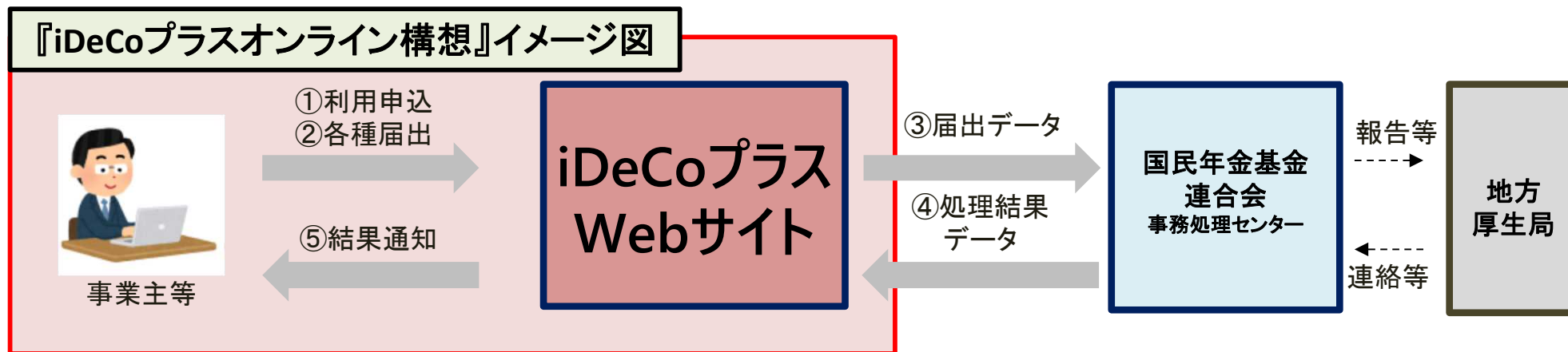
【iDeCoプラスオンライン構想】

○概要

- ・ iDeCoプラスの申請・届出をオンライン化し、事業主手続きの利便向上を図る。
- ・ 将来的に、従業員への各種通知や資料提供など、更なる利便性の向上も想定。

○オンライン化対象手続

- ・ 事業主による現況届、変更届(従業員・事業主掛金・拠出時期の変更)、開始届、終了届等を段階的に導入。



※ iDeCoプラス(iDeCo+)とは

- ・ 事業主がiDeCo加入者である従業員の掛金に上乗せして事業主掛金を拠出できる制度
- ・ 従業員規模300人以下で、企業年金を実施していない事業所で導入可能
- ・ 平成30(2018)年5月に制度施行され、令和8(2026)年2月末現在、9,830事業所、62,520人が利用